

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成25年5月2日(2013.5.2)

【公開番号】特開2010-227231(P2010-227231A)

【公開日】平成22年10月14日(2010.10.14)

【年通号数】公開・登録公報2010-041

【出願番号】特願2009-76707(P2009-76707)

【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 5/04 5 1 2 Z

A 6 3 F 5/04 5 1 2 J

【手続補正書】

【提出日】平成25年3月14日(2013.3.14)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

投入口から投入された遊技媒体を検知して、検知信号を出力する検知センサと、この検知センサからの検知信号の入力に基づいてクレジット数を増加させるクレジット手段と、清算ボタンの操作に応答して、クレジットされている遊技媒体を払い出す清算処理を行う清算手段を備える遊技機において、

前記清算手段による清算処理中に前記検知センサからの検知信号が検出されることによって不正行為が行われたと判定する不正判定手段を備えたことを特徴とする遊技機。

【請求項2】

前記検知センサからの検知信号に応答して、所定の規定枚数を限度に投入された遊技媒体をベットするベット手段を備え、

前記クレジット手段は、前記ベット手段による遊技媒体のベット数が所定の規定枚数に達しているときに、所定の最大クレジット数を限度に、前記検知センサからの検知信号の入力毎にクレジット数を増加させ、

前記清算手段は、清算ボタンの操作に応答して、ベットされている遊技媒体が存在するか否かを調べ、ベットされている遊技媒体が存在しない場合は、クレジット数分の遊技媒体を、クレジットされている遊技媒体として払い出し、ベットされている遊技媒体が存在する場合は、ベットされている遊技媒体及びクレジット数分の遊技媒体を、クレジットされている遊技媒体として払い出すことを特徴とする請求項1記載の遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

上記目的を達成するために、本発明の遊技機は、投入口から投入された遊技媒体を検知して、検知信号を出力する検知センサと、この検知センサからの検知信号の入力に基づいてクレジット数を増加させるクレジット手段と、清算ボタンの操作に応答して、クレジットされている遊技媒体を払い出す清算処理を行う清算手段を備える遊技機において、清算

手段による清算処理中に前記検知センサからの検知信号の検出が検出されることによって不正行為が行われたと判定する不正判定手段を備えたものである。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

また、検知センサからの検知信号に応答して、所定の規定枚数を限度に投入された遊技媒体をベットするベット手段を備え、クレジット手段を、ベット手段による遊技媒体のベット数が所定の規定枚数に達しているときに、所定の最大クレジット数を限度に、検知センサからの検知信号の入力毎にクレジット数を増加させ、清算手段を、清算ボタンの操作に応答して、ベットされている遊技媒体が存在するか否かを調べ、ベットされている遊技媒体が存在しない場合は、クレジット数分の遊技媒体を、クレジットされている遊技媒体として払い出し、ベットされている遊技媒体が存在する場合は、ベットされている遊技媒体及びクレジット数分の遊技媒体を、クレジットされている遊技媒体として払い出すようにしてもよい。